

平成26年教育委員会第10回定例会会議録

開会日時 平成26年10月10日 午前 10時00分
閉会日時 同 上 午前 11時00分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 杉 浦 容 子
同職務代理 塚 本 亨
委 員 面 田 博 子
委 員 松 本 實
委 員 竹 高 京 子
教育長 塩 澤 雄 一

議場出席委員

・教育次長	前田 正憲	・学校教育担当部長	平沢 安正
・庶務課長	杉立 敏也	・教育計画推進担当課長	若林 繁
・学校施設課長	伊藤日出夫	・学務課長	石合 一成
・指導室長	岡部 良美	・統括指導主事	光山 真人
・統括指導主事	加藤 憲司	・地域教育課長	尾形 保男
・生涯学習課長	香川 幸博	・生涯スポーツ課長	竹嶋 和也
・中央図書館長	橋本 幸夫	・教育委員会事務局副参事	中島 英一

書 記

・企画係長 菊池 嘉昭

開会宣言 委員長 杉 浦 容 子 午前 10時00分 開会を宣する。

署名委員 委 員 杉 浦 容 子 委 員 塚 本 亨 委 員 塩 澤 雄 一
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

○委員長 おはようございます。

ただいまより、平成26年教育委員会第10回定例会を開会いたします。

去る9月27日、長野県御嶽山の噴火災害により、多くの方がお亡くなりになりました。心より謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被害に遭われました皆様に、心からお見舞い申し上げます。

本日の会議録の署名は、私に加えまして、塚本委員、塩澤教育長にお願いいたします。

本日は、議案等の審議はございません。報告事項等5件となりますので、よろしくお願いいたします。

報告事項等1「かつしかっ子宣言シンポジウムの実施について」、ご説明をお願いいたします。
指導室長。

○指導室長 それでは、私から、今年度から開始をされます平成26年度かつしかっ子宣言シンポジウムの実施につきまして、ご報告をさせていただきます。

それでは、レジュメに沿いましてお話をさせていただきます。

まず、日時でございますが、11月8日、土曜日でございます。この日は「葛飾教育の日」になっておりまして、その日の午後2時30分から4時45分までを予定しております。

会場でございますが、東京理科大学のホールとなっております。

シンポジウムのほうの参加対象者でございますが、各学校3名の代表児童・生徒が参ります。さらに、教職員といたしましては管理職を含めて2名、そしてPTA関係、青少年委員、そして実践発表校、後でお話し差し上げますが、5校の児童・生徒の保護者、そして青少年地区委員の方、そして一般区民の方を予定しております。

次第でございますけれども、開会の挨拶は教育委員長にお願いをできればと思っております。その後、「かつしかっ子宣言」の実践発表が行われます。今年度につきましては、夏休みに中間報告をそれぞれ学校から受けておりますけれども、その報告内容、さらには日々の取り組みから、今年度は二上小学校、新宿小学校、金町小学校、そして本田中学校、堀切中学校の5校を実践発表校といたしました。こちらでは、それぞれの学校から代表児童・生徒による1校10分間の発表がございます。その後、パネルディスカッションを実施いたします。パネラーといたしましては、東京女子体育大学の小林福太郎教授にお願いをいたしまして、パネリストといたしまして、教育長、そして小学校長・中学校長代表1名、そしてさらに発表校代表児童・生徒の5名を予定しておるところでございます。なお、発表校は5校でございますが、その他の学校につきましては、資料配付による資料発表を進めてまいります。こちらのシンポジウムにつきましては、『広報かつしか』におきまして、区民の皆様にも開催のお知らせをするとともに、その内容につきましては12月15日の「広報かつしか」でお知らせをしていく予定でございます。

す。

私のほうからは以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。ただいまのご説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

面田委員。

○面田委員 この話を春ごろに聞きまして、とても楽しみにしておりました。実際にこの「かつしかっ子宣言」というものを自分のものとして子どもたちが取り組む、そういうふうにごちらとしては期待をしておるところですが、それがここでその取り組みが発表されるということで、大変楽しみにしております。

パネルディスカッションですが、パネラーとして教育長が出るということも、これも大変意味があるなという思いです。そして子どもたちもきっとさまざまところで、また意欲も上ってくるだろうし、一歩前進できるかと思えます。

ただ、初めての取り組みなので、どんなことが起きるか想定ができないこともあります。ぜひ温かい目で、前向きな形を崩すことのないように、フォローしながら進めていただきたいと思います。

もう一つ、会場が東京理科大学のホールで、一般区民も参加できると書いてあります。特に制限などなく、会場に入れるようにされているのか教えていただけますか。

○委員長 指導室長。

○指導室長 「かつしかっ子宣言」は今年度から取り組んでおりますけれども、今年度から始まりました「かつしか教育プラン 2014」の大きな内容でございます。各学校は、私たちが予想する以上によく取り組んでおります。教育長のほうからも、校長先生方にはそのお話をさせていただいたところがございます。初めての取り組みということですがけれども、葛飾区の子どもたちがこんなに頑張っているのだというところを、ごらんいただきたいと。さらには広報紙を通して発信できればと思っています。

なお、確かに大ホールではございますけれども、数が 600 名ぐらいというところがございます。各学校からの参加者だけでも 500 名ぐらいになってしましまして、このところを考えると、一般の区民の方は、席に座っていただける方は 30 名ほどかなというふうに思っております。広報紙のほうでは、広報課のほうから、例えば先着何名という形でというお話がありましたので、私たちとしましては先着 30 名という形で考えてございます。ただ、もし立ち見でもよろしければということで、おいでになった方は少し入れていくような形で、できるだけおいでになった方は入っていただくように努力はしたいと思えます。ホールの外のモニターの活用ということも、理科大学のほうに尋ねたところなのですが、現在理科大学のシステムの中では、そのホールの外で見るようなシステムがないということですので、とにかく来ていただいた方にはしっ

かりとお入りいただけるような努力はしたいと思えます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにご覧いませんか。

よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○委員長 それでは、次に進みます。

報告事項等2「平成26年度小学校水泳記録会の実施結果について」、ご説明をお願いいたします。

指導室長。

○指導室長 それでは、今年度、5年生を対象にして行われました小学校水泳記録会の実施結果につきまして、ご報告をさせていただきます。

9月4日の木曜日に、これは第62回になります、葛飾区立小学校水泳記録会が15の会場に分かれまして実施をされました。昨年度から、対象は5年生として、1人2種目まで出場可能ということで実施をしております。お手元の資料にございますが、1位から3位までの記録を載せさせていただきました。

平成21年度から平成24年度まで、6年生で実施した歴代1位から3位と、平成25年度から5年生が実施をしております歴代記録につきましては、参考の資料といたしまして、裏面のほうに載せさせていただいております。

当日は、どの会場でも学校の代表選手として、堂々とした態度で記録会に参加をすることができておりました。例えば見る態度から聞く態度というのは、これからさらに6年生に向けて、各学校で指導を進める必要があると思えますが、けがもなく、子どもたちは力を出し切れたのではないかと思っています。

5年生の実施に当たりましては、いろいろ賛否両論がございましたけれども、ここ2年目を迎えて、5年生が今の時点での自己のベストを尽くして、さらに残り小学校1年間の中で、6年生ではこういう目標を持っていくのだというような一人一人の目標につなげることができたと考えております。教育委員の皆様にもごらんいただいた学校もござります。ありがとうございました。

私のほうからは以上でございます。

○委員長 ただいまのご報告につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

竹高委員。

○竹高委員 記録会、見せていただきました。当番校になっている会場校の先生方のご苦勞もあり、そこにいらっしゃっている学校の先生方とのチームワークがなければ、やっぱりこの水泳記録会というのはでき上がらないのだということを、ことしゆつくりと見させていただきま

した。ブロックであったり、コミュニケーションを各校でとる上でも、先生方にとってもとても良い機会ではないのかなというふうには感じさせていただきました。

やはり、5年生がやるということで、昨年から少し心配ではあったのですが、私が見た会場校は、去年もそう思ったのですが、声援のマナーがとてもよくて、たとえ他校の選手でもまだ泳ぎ切っていない生徒がいるとしっかり応援していました。そういう意味でも全ての子に対して頑張って応援していること、もちろん自校も応援するのですが、一緒に泳いでいる子たちを応援する、その気持ち。それから、5年生なのに6年生と同じぐらいマナーがしっかりしていて、5年生にとって、その次年度、最高学年になるに当たって自信をつける一つになるのではないかなというふうには感じさせていただきました。この企画を進めていただいている先生方も事務局の方も本当に感謝いたします。

○委員長 ありがとうございます。ほかにございますか。

松本委員。

○松本委員 私も、近くの会場で見学させていただきました。体力の向上が教育委員会としての一つの課題になっていますけれども、5年生全員が出て、目標にして取り組んで、あそこで発表しているということは、体力の向上の一環としてよい行事となっていると思います。

前に、授業時数の確保で、行事を、これは続けていこう、これは精選していこうという洗い直しをやったのですが、今、授業時数を確保できていると思いますので、行事として続けていけばいいのかなと思います。ただ、何校かで集まるので、途中引率とか、水で行う行事ですから、安全にはこれからも十分気をつけて続けていっていただきたいと思います。

以上です。

○委員長 ほかにございますか。

塚本委員。

○塚本委員 私は、残念ながらお邪魔することができなかったのですが、只今、竹高委員、松本委員がおっしゃいましたが、特にスポーツマンシップというか、この行事を通して、子どもたちが一番多感な時期に、目標に向かう心、他人を愛する心を育てていくことが大切ではないかと思います。オリンピックの開催も控えていますし、そういった意味では、現場の先生方のご苦勞もあり、また事務局としての対応としてはいろいろございますでしょうが、ぜひ、これは前向きに、子どもたちのきずなをつくることとして、今後も頑張ってくださいと思います。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 では、次に参ります。

報告事項等3「平成26年度中学校連合陸上競技大会の実施結果について」、ご説明をお願いいたします。

指導室長。

○指導室長 それでは、平成26年度中学校連合陸上競技大会の実施結果につきまして、ご報告をさせていただきます。

本年度も10月2日に中学校連合陸上競技大会が奥戸にございます総合スポーツセンター陸上競技場で、全中学校の24校・734名の生徒が参加をいたしまして開催をいたしました。

実施結果は、資料のとおりでございます。今年度も、全ての種目を無事終えることができました。各種目で接戦が見られ、団体の総得点でも接戦となった状況でございました。また、大会新記録も多数出ております。

競技中、練習中の転倒によりまして、けがで2名の生徒が救急搬送されましたが、大事に至らなかったことを、ここで改めてご報告をさせていただきます。

それでは、資料に沿いましてお話をさせていただきます。

まず、男子でございます。男子につきましては、1位・水元中学校でございました。2位・立石中学校、3位・新宿中学校、4位・東金町中学校、5位・亀有中学校、6位・金町中学校ということでございました。女子につきましては、1位・常磐中学校、2位・東金町中学校、3位・立石中学校、4位・金町中学校、5位・新宿中学校、6位・水元中学校。そして、総合得点でございますが、1位が水元中学校、2位・立石中学校、3位・常磐中学校、4位・東金町中学校、5位・新宿中学校、そして6位が金町中学校ということでございました。

今年度、新たに6位までに入賞した学校でございますが、男子は東金町中学校、女子では金町中学校、水元中学校でございます。さらには、総合でも、金町中学校が今年度6位の中に入ったところでございます。

水元中学校は、特に男子では2位と大きく差がついて、非常に水元中学校の力が目立ったところでございます。さらに、常磐中学校は、女子でございますけれども、女子の部で2位にかなり大きな差をつけて1位になったところでございます。

大会新記録につきましては、下に書かせていただきました。3年男子100メートルで、亀有中学校の池田和飛さん、そして共通男子の800メートルでは、やはり亀有中学校の伊原達哉さん、1・2年生男子走り幅跳びでは立石中学校の西村陸さん、共通男子4×100メートルリレーでは亀有中学校、共通女子800メートルでは堀切中学校の石塚あかりさん、さらに同じく共通女子800メートルで新宿中学校の杉田久瑠美さん、共通女子1500メートルでは東金町中学校の森田千遼さん、1・2年女子走り幅跳びでは東金町中学校の及川真由さん、1・2年女子砲丸投げでは水元中学校の芝原杏季さん、そして2年女子4×100メートルリレーでは、東金町中学校、金町中学校、常磐中学校がそれぞれ新記録を出しております。今回につきましては、

昨年度よりもまた新記録が多く出たということで、子どもたちのこの大会への意気込み、さらには日々の体育の授業等で、子どもたちの体力がまた高まってきているのかなど、私たちは感じさせていただいております。

私のほうからは以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。ただいまのご説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

塚本委員。

○塚本委員 本日、この場ではなくてもよろしいのですけれども、この中学生の対象競技の中で、いわゆる都心部の子どもたちとの平均的な数値でしょうか、それと乖離現象がもし見られるのであれば、何かの機会でご報告をいただきたいのがひとつと、この表を見せていただいて気になりましたのが、大会新記録については室長のほうから順にご説明いただいたのですが、例えば亀有中の方と東金町中が、それぞれ記録の中にも出てございますけれども、例えば、校名を挙げてはいけないのですが、総合でも2位についています立石中学校に関しては、記録はここには出てきてございません。そういった部分での部活と、あるいはまた体育の平常時の授業の中での底上げという部分を明確にしたらどうかなと思いました。アスリートがいて上位に行く部分は、例えば水元中と立石中の総合得点の77.0と58.0、この乖離は今のご説明でわかるのですが、少なくとも個人記録、大会新記録がなくても総合的な評価が高いという部分は、その現場に当たって指導されている先生のご努力もこの中から読み取れたので、そのような感想を持ちました。

以上です。

○委員長 ほかにございますか。

竹高委員。

○竹高委員 当日は、本当に皆さん、ご苦労さまでした。中学校の体育部というか、活動してくださった、サポートされている先生方もすごくご苦労された結果だなということを見させていただきました。校長先生方も皆さん応援しているのが目につきました。最後の最後になって雨が降ってしまったのが少し残念でした。風邪を引く生徒がいないといいと思っていたのですが、雨の中でも順位発表されたときの子どもたちの歓声がすごく耳に残り、その中でも水元中学校は今回とても頑張っていたので、すごいなと感じました。それこそ今、塚本委員がおっしゃったように、新記録の中にはほとんど出ていなくても、みんながみんな頑張った成果というのがこの点数につながっていると感じます。

子どもたちが一生懸命やっている姿はとてもいいと思ったのですが、開会式での歌の音が少し小さかったのが非常に残念でした。ただ、挨拶をするときの声が、「おはようございます」という声とかもすごくはっきりとして、元気で覇気があったので、多分この上位に入っている学

校の生徒の挨拶だったのではないかというふうに感じました。また、これがずっと子どもたちの張り合いになって、毎年毎年3年間、この大会に向けて頑張るぞという生徒が出てくるとも楽しみの一つだと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長 ほかにございませんか。

一言だけ。今回、734名の選手が参加しているとのことのご報告でした。救急搬送されたのが2名ということですが、医師とか看護師の方は何名会場に待機していらっしゃったのか教えていただけますか。

指導室長。

○指導室長 医師については、会場にはおりません。ただ、看護師の方は2名来ていただいております。場合によってけが等が生じたとき、医師が必要なときには、例えば近隣の医院に事前をお願いしておくとか、今回のように救急搬送が必要であれば、救急搬送するという形で体制はとっております。子どもたちの安全については十分とは言えないかもしれませんが、私たちとしても配慮はしているところでございます。課題があれば、また改善は必要であると思っております。

○委員長 734名という人数ですので、医師会の先生にお願いするとか、工夫して競技場にお医者様にいていただくということはお無理でしょうか。それから、女子中学生がけがをされていたと思います。けがの対応は看護師さんがされたと思いますが、女子中学生は、男性の先生ですと、やはり遠慮することもあるかと思えます。女生徒には最後まで、女性の先生、職員に対応していただいた方がよろしいのではないのでしょうか。その辺につきましていかがでしょうか。

指導室長。

○指導室長 今、委員長からお話があったことについては、また今度反省会等がありますので、そこで十分考慮していけるようにしてまいりたいと考えております。

○委員長 よろしく申し上げます。

他によろしいですか。

(「なし」の声あり)

○委員長 では、次に参ります。

報告事項等4「平成26年度上半期の教員の研修報告について」、ご説明をお願いいたします。

指導室長。

○指導室長 それでは、上半期の教員の研修報告につきましてご報告をさせていただきます。

まず、資料にございます実技研修からご報告をさせていただきます。

実技研修につきましては、書写実技、理科実技、音楽実技、体育実技の四つの研修会を実施しております。延べ、全17回を実施しておりますけれども、合計359人の受講がございました。

以前ございました図工、美術、道徳の研修会は今年度から取りやめておりまして、各研修につきましても回数を少なくいたしましたので、昨年度と比べ、受講者は213人の減少となっております。こちらにつきましては、夏季休業日にそれぞれ小中連携の取り組みを行うとか、他の研修も入ってまいりましたので、研修の回数を減らしたというところでございます。

特に、体育の実技研修会につきましては、小学校教員を中心に、小学校陸上競技大会に向けての競技の細かなルールや選手の立ち位置などについて、研修を実施しております。

また、今年度はコーディネーショントレーニングについても研修を取り入れておりまして、児童・生徒の体力向上に向けた取り組みが各校で広がっていけばと思っております。

続きまして、2番の教育課題研修でございます。ここでは、小学校外国語活動研修初級、そして小学校外国語活動研修中級を実施しております。こちらにつきましては、本年度から新規に実施をしたものでございます。これは、担任が自信を持って、そして主体的に外国語活動を指導することができるようにという目的から実施したものでございます。現在は、小学校の外国語活動は5年生と6年生で実施をしておりますので、今年度につきましては小学校5年担任全員をこの研修に参加をさせております。学級数が108学級ですので、全員が参加をしております。そのほかの4名につきましては校長先生からこの人間もというご依頼がありましたので、それを加えた参加となっております。

特に、初級、中級ともに、座学ということではございませんで、学習指導要領に示されておりますコミュニケーションの素地の養成とか言語や異文化への理解を深めること、英語の音声・表現になれて親しむことということの内容にいたしまして、こちらでは外国語活動や児童英語を専門に研究をしている大学教授を講師としてお呼びいたしまして、研修を進めたところでございます。

今回、初級と中級、それぞれ2回の研修という形になりますけれども、2回出て終了ということになります。それぞれ教員の、自分の現在の、いわゆる力量を自身が判断して選択をできるようにしたところでございます。

初級研修では、挨拶文や発音練習から、まずそれをウォームアップとして始めまして、その後、絵や写真を見て英語で答える活動やゲーム、そして歌を通して英語を親しませる工夫の入った研修をいたしました。なかなか自分で身振り手振りや、そして活動することについてちゅうちょしてしまう教員が多いのですが、とにかく英語に自信がない教員でも、自然と英語に親しめるような内容の研修となったところでございます。初級では、後半は、実際の教室をイメージした形式で、英語による問答とか役割練習を、教員が児童や先生役になって行う模擬授業も実施をしたところでございます。

中級については、さらにその専門的な部分を伸ばすという部分も取り入れております。一定時間、英語だけで会話のやりとりを行ったり、自分の考えや感じたことを英語で表現するとい

うコーナーも取り入れてまいりました。こちらも、2学期からの外国語活動、教員が率先して指導できるような方向に結びつけたいと思っております。

現在、2学期に入りまして一月たちましたけれども、全教員に対して、アンケートをとっております。研修を受ける前の課題は何でしたかと、その課題が研修によって解決できましたか、そしてもう1点はこの研修を受けて、どのように自分自身の授業の進め方が変わりましたかという、その3点についてアンケートをとっております。そのアンケートを踏まえながら、また来年度は、3年生から6年生までできればと考えております。5・6年の担任ではなくても、いつか自分が外国語活動を指導することになりますので、それに向けた研修を継続的に、計画的に実施してまいりたいと考えているところでございます。

続きまして、3番の教育相談研修でございます。こちらにつきましては、32回実施をいたしまして、255人の受講がございました。教育相談研修は、初級から、そして中級、そしてさらには専門というところまで研修が分かれております。こちらにつきましては、この研修にきっちり出ることが修了の条件になっております。その意味では、なかなかこのまとまった研修に出られない教員を対象といたしまして、夏季休業日に行われます教育相談のA研修とB研修を、テーマを絞って実施したところでございます。特に発達障害に関する研修がございましたが、夏季休業日の教育相談のAコースにつきましては100名を超える参加者がございました。

続きまして、4番、コンピューター実技研修でございます。こちらにつきましては、30回を実施しまして、191人の受講がございました。実態としては、ワープロソフトや表計算のソフトの研修を希望する方がまだ若干おるところでございますけれども、それだけではなくて、区で今取り入れております実物投影機や電子黒板の利用といった、教室でのICT教育にかかわる研修を行いました。それにつきましては、多くの参加が見られました。全体的にも、参加者数は、昨年度と比べますと35人の増加となっておりますところでございます。

全体といたしましては83の研修回数、そして917名の受講者がございました。こちらの研修によって、より教員が自分の力をつけて、子どもたちにわかりやすい、そして子どもたちにとっても学んでよかったという授業を進めることができるように、今後も、今年度の研修について指導室としても反省を加えながら、また来年度の研修については計画を図ってまいりたいと考えております。

私のほうからは以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。ただいまのご説明につきまして、ご意見・ご質問等ございましたらお願いいたします。

面田委員。

○面田委員 報告ありがとうございます。教員にとって研修は、ある意味、私は義務だと考えております。ですから、ぜひ、それこそ義務ぐらいの気持ちで、先生方には参加をしていた

だきたいという思いなのです。

一つ目にお聞きしたいのは、実技研修のときの講師はどういった方なのかということと、それから例えば4回とあるのは、4回とも同じコースだったのかお伺いしたいと思います。

実技研修で、今まであったけれども、必要なものに絞ったということは、私はとても良いと思います。

それから、二つ目の教育課題研修。これは新しくことしから始まった研修のようですね。夏休み中に集中してやったということは、受ける側にとってみると非常に良かったのではないかと思います。私は、特に外国語は得意な分野ではありませんし、間があいてしまうと忘れてしまうのかなという思いもありますので、このように連続して行ったということは良かったと思います。受講は、5年の担任教員が全員悉皆ですね。全員が受講したということは、葛飾の先生方の熱意というのはすばらしいと思います。講師が大学の先生であったこと、それから内容に非常に工夫があったと聞きまして、またアンケートをとって、それをまた生かしていくことなので、非常に期待して、この研修についてはこの先も見たいと思います。何しろ子どもたちに返っていくわけですから、私も教室のほうへ見にいかせていただければと思いました。

それから、最後のコンピューターの実技研修ですが、まだワープロの段階の方もいらっしゃるということが現実かなと。できるのが当たり前かと私は思っていたのですが、現実はまだそういう人もいらっしゃる。そういう人にとっては受けやすかったかなとは思っていますが、もう少し電子黒板とか実物投影機のほうに力を入れていく方向にいったほうがいいのかという思いで聞かせていただきました。でも、昨年よりも受講者数がふえているということは成果だと思います。ありがとうございました。

以上です。

○委員長 指導室長。

○指導室長 講師についてのお尋ねがございました。まず、実技研修の講師でございます。書写の実技につきましては、お1人の先生にこちらのほうはお願いをしております。こちらについては教員ではなく、書写の専門家の方をお願いしました。理科の実技研修会につきましては、一つは科学教育センターの担当者、さらには東京理科大学のほうからもご協力をいただいたところでございます。音楽の実技研修会は、音楽をいろいろ指導していらっしゃる、経験者の元校長先生という形で、他区でございますがお願いをしております。体育実技研修会につきましては、こちらは主に体育部の中で講師役を、やはり本区の体育部は力がございますので、そちらを中心に進めてきたところでございます。

ご質問については以上でございます。

○委員長 面田委員。

○面田委員 体育部など本区で実際にやっている先生方が講師であったというのもいいやり方だなと改めて思いました。ありがとうございました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにございますか。よろしいですか。

竹高委員。

○竹高委員 ご説明ありがとうございます。コンピューター実技研修なのですけれども、やはりまだワープロソフトの基礎・応用、そこら辺の部分のほうに受講が集まるというお話もあつたのですが、それよりも実物投影機など子どもたちにリアルに、すぐに使えるようなことをもっとプッシュして、先生方が力をつけるためにこの研修を受けられていくといいのかなと感じたので、ぜひ応援していただきたいと思います。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 この夏は、小学校の教科書検定もございました。研修開催にあたりましては、指導室の先生方大変お忙しい中ご苦労もおありになったと思います。ありがとうございました。参加人数も昨年よりもふえているというご報告もございました。今後ともよろしく願い申し上げます。

では次に、報告事項等5「図書返却ポストの設置について」、ご報告をお願いいたします。

中央図書館長。

○中央図書館長 それでは、図書返却ポストの設置につきましてご報告をさせていただきます。資料をごらんください。

まず、概要でございますけれども、利用者の利便性の向上を図るため、図書館に行かずに貸し出した図書を返却できる図書返却ポストを設置させていただきます。これまでは、図書館が閉まった後、閉館時に、図書館にブックポストというものがございまして、それをご利用いただいていたわけでございます。中央図書館につきましては1階にございまして、図書館が3階ですので、24時間利用いただいておりますように、図書館に併設していたのですけれども、図書館とは別の場所に、区で初めて設置するものでございます。

2の設置場所でございますけれども、新小岩の東北広場の自転車置場の場所でございます。

仕様につきましては、大きさでございますけれども、横が75センチ、奥行きが90センチ、高さが1メートル60センチ、投入口につきましては、横幅が40センチで高さが7センチということで、投入口まで地面から1メートル20センチでございます。

恐れ入りますが、裏面をごらんください。場所でございますけれども、東北広場にタクシープールがございまして、ちょうど駅のほうに通じる、右側のほうに小さく載っております。新小岩駅周辺のバス乗場の、ちょうど11のバス停の下あたりということでございます。連絡通路

に通じて階段を降りたちょうど正面の場所でございます。

図書返却ポストのイメージということで、図書館のホームページで活用してございます、こういった模様をこの図書返却ポストに塗るということでもあります。

表のほうにお戻りください。4の使用開始日時でございますけれども、10月20日、月曜日の10時からということをご利用を開始させていただきます。

周知方法につきましては、本日以降、『広報かつしか』やホームページ等で周知させていただきます。

また、図書返却ポストの収納冊数でございますけれども、本の大きさによっても異なりますが、約200から300冊程度入るものでございます。

説明は以上でございます。よろしく申し上げます。

○委員長 ありがとうございます。ただいまのご説明につきまして、ご意見・ご質問等ございましたらお願いいたします。

竹高委員。

○竹高委員 ご説明ありがとうございます。この図書返却ポスト、とてもすばらしい案だなと思います。先日、中央図書館に行ったときに、時間的に7時ぐらいだったのですけれども、学生さんとかがすごく一生懸命、もう椅子に座る場所がないくらいの方の人数の方が勉強している姿を見て、ああこんなきれいなところで子どもたちが勉強できる環境があるのはすばらしいなと本当に感じました。区内で、ほかの図書館でもそういう形で、子どもたちが勉強できるような形、それをサポートできるような居場所があると、やはり子どもたちにとっては、塾に行かない子どもたちも勉強することができるのではないかなと思いました。ですから、そこで借りた本を、図書館に行かなくても、駅のそばで返していくことができる。大人にとっては生涯学習の一步ですし、子どもにとっては学校に行くときに、図書館まで行かなくてもそこで返すことができる、こういう返却ポストがふえることはとても大事ななことかと思えます。

ただ、1点心配なのは、それこそ間違っちゃいけないにしてもその中にごみなど、酔っぱらった方が入れてしまったりとか、そういう間違いが起きないように、交番のそばですとか、あと防犯カメラがあるような場所ですとか、そういう場所にあると、大切な本が傷むこともなくて、使えるようになるのではないかと感じます。

区で初めてと伺ったのですけれども、まずここで試しにやってみて、その後、何カ所かふやしていくという予定があるのでしたら、教えていただければと思います。

○委員長 中央図書館長。

○中央図書館長 ありがとうございます。中央図書館など、ちょうど試験の前とか、かなりの人数の学生さんに利用していただいております。

また、心配いただきました対応でございますけれども、確かにそういった場所に設置してい

れば人の目がありますので、心ない方がそういういたづらをするということもないというふう
に考えてございます。とりあえず導入し、利用していただいて、状況によってはまたいろいろ
と検討していきたいと思えます。

今後の返却ポストの常設等のご質問でございますけれども、お話いただいたとおり、ふやし
ていく必要性もあるというふうには考えてございますけれども、どの場所にどのようにという
ことにつきましては、今回設置して、いろいろなものの検証ですとか、当然駅に置くとなると、
駅のほうの意向などもございますので、そういったものを調整して、前向きに図書館を利用し
やすいサービスを、利用するための取り組みを続けてまいりたいと思っております。よろしく
お願いします。

○委員長 ありがとうございます。ほかにございますか。

塚本委員。

○塚本委員 今、竹高委員のほうから、今後のいろいろな展開、お願い、私も同感なのですが、
いわゆる既存の幾つかの図書館がございまして、そこでの利用率、区民の方の利用率がそのパ
ックボーンと、あとは周辺の駅の通勤・通学の利便性と。ただ、先ほどマックスが200ないし
300冊であるとおっしゃったのですが、いわゆる蔵書の、図書館に置かなければいけない部分
がございまして、どのぐらいのペースで回収をされていくのかを、お教え願えればと思いま
す。

○委員長 中央図書館長。

○中央図書館長 回収でございますけれども、1日に1回、午前中、時間は業者との調整もあ
りますけれども早い時間に、朝の通勤・通学時を終えた時間、9時ごろ回収し、近くの図書館
に運んでいただくというような予定をしております。

○委員長 ありがとうございます。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○委員長 報告事項等5件について、終了させていただきます。

「その他」の事項に入る前に、各委員のほうから何かご意見等ございましたら、お願いいた
します。

よろしいですか。

では、私から。今週は運動会、葛飾教育の日が集中してございました。私も運動会、葛飾教
育の日と行かせていただきました。特に印象に残った二つの件について。

一つは、亀有中学校の午前中の後半に生徒の主張大会がございました。体育館壇上に中学生、
各1年生・2年生・3年生の選ばれた人が2名ずつ、1年生の1人は欠席だったのですが、そ
の主張の姿、声、表現力がとてもすばらしく、その中の一人の男子生徒のボランティア活動で
後進国を支援する私の意見という、すばらしい発言もありました。また、その主張を聞いている

生徒の姿が本当に立派でした。

残念だったのは、授業参観が終わると、お母様たちが帰るご様子でしたので、どうしてお帰りになるのですかとお聞きしましたところ、子どもに目立つから帰ってくれ、出ないでくれと言われるのでということでした。確かにこの世代の子どもたちにはそういう傾向があるのかと思いましたが、私はもったいないと感じました。私も出ますから、ご一緒にいかがですかと言ったのですけれども、もう一人の方が小学校の葛飾教育の日のほうに行かれるということで一緒にお帰りになりました。その日は20名程度の保護者の方が壇上を熱心にご覧になっておりましたけれども、子どもたちが立派に自分の意見を主張して、それを聞いている生徒は同調する時や終了すると惜しまず拍手を送り、聞く態度も立派な姿に感動いたしました。このような場で地域の方々に生徒の本当の姿を見ていただきたいと思いました。

もう一つは、西小菅小学校の運動会です。西小菅小学校は、雨天のため、日程の変更ということで、水曜日の開催でした。ウィークデーですから、観客席に空席が多く残念でした。鼓笛隊の校庭の中でのパレードは圧巻でした。学校だよりでは、1学期から少しずつ練習を始めて、9月には集中して練習したと記載してありましたが、練習の成果をしっかりと見ることができました。音楽を奏でながら、隊形変化、行進する様子は一糸乱れずに、とてもすばらしく感動しました。約30分近く重たい楽器を持ち、指揮棒を振り、腕を持ち上げ、一人も崩すことなく、校庭狭しと思うほど、行進する児童、見る児童の態度も本当に立派でした。ここで終わらせるのは、もったいないなと思うほどでした。いくつかの学校の運動会に行かせていただきましたが、各学年の表現が特に立派でした。「かつしかっ子宣言」としての子どもたちの取り組み、先生方のご指導が功を奏して、しっかり結果が出ていると、心熱くしてきた次第です。各学校と指導室の先生方のおかげだと思います。ありがとうございました。

他にございませんか。

面田委員。

○面田委員 私のところに、よく「学校だより」を送っていただいております。たくさん学校からいただいています。ことしになってから、この「教育プラン2014」について校長先生がどう取り組んでいるのかということがわかる書き方をしてくださっている学校がたくさんありました。例えば、何々中スタンダードについてとか、あるいはかつしかっ子授業スタイルの定着に向けて本校の取り組みとか、定着度調査の本校の結果とか、それから方策とか、いろいろそういうことが書いてある学校が結構あるのです。

でも、中にはあまりそういうことに触れないで、校長先生がお書きになっているところもあります。それはそれでいいのですけれども、「学校だより」というのは保護者の家に必ず行くものですから、ある意味そういうことを知らせることで、親の理解を深めることにもなるし、今学校がこういうふうに進んでいるのだということをおわかってもらう大きな役割を持っています。

それと同時に、学校の入り口のところにどの学校も張ってあります。地域の人はよく立ちどまってごらんになっていますし、ある地区では「学校だより」が町会の回覧板で回っていると聞きます。学校だよりがすごく読みたいな、ああこういうふうに進んでいるのだなという書きぶりをしていらっしゃる「学校だより」をたくさん見ることができるようになったということで、うれしいと思っております。多分、指導室とか、そういう関係の方々のご指導のおかげかと思えます。ぜひ、今後もそのような方向に進めていただければと思って、報告をさせていただきました。ありがとうございます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにはよろしいですか。

(「なし」の声あり)

○委員長 では、「その他」の事項に進みます。庶務課長に一括してご説明をお願いします。
庶務課長。

○庶務課長 それでは、「その他」の事項についてご説明させていただきます。

まず、1、資料配付でございます。「葛飾区立中央図書館開館5周年記念特別イベント」のチラシを置かせていただいております。こちらに、「図書館と本とつながる特別イベント」ということで、さまざまなイベントを記載させていただいておりますので、後ほどごらんおきください。

次に、2の出席依頼でございます。

今回、5件にプラスして、1件変更ございましたので、6件確認をさせていただきます。まず、10月29日、中学校連合音楽会を竹高委員から塚本委員に変更させていただきます。次に、10月30日、葛飾区中学校連合音楽会の出席を松本委員をお願いいたします。一つ飛ばしまして、11月8日のかつしかっ子宣言シンポジウム、杉浦委員長の出席をお願いいたします。次に、11月12日、葛飾区小学校連合音楽会を竹高委員、同じく12日の読書感想文コンクール表彰式を竹高委員をお願いいたします。次に、11月13日、葛飾シンフォニーヒルズで行われる小学校連合音楽会を面田委員をお願いいたします。

以上、変更の1件を含めまして、6件の出席依頼について確認させていただきました。

3に、次回以降の教育委員会の予定を記載させていただいておりますので、後ほどごらんおきください。

説明は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 私のほうから、連絡・報告の2件をさせていただきます。

まず、10月13日に予定しております、かつしかスポーツフェスティバルの当日の実施の可否についての判断のお知らせをしたいと思います。皆さんご存じのように、現在台風19号が接

近しているということで、当日の13日の朝、どういう状況になろうかというところで、まず雨が降れば雨天プログラムで実施をするわけですが、台風が直撃ということになれば、当然それもできないだろうということで、その判断を前日の12日の午後3時に決定をしたいと思います。きょうの朝の天気予報を見ますと、速度が遅くなっていますので、雨は心配されますけれども、風のほうは何とかしのげるのかというところで、雨プログラムでやりたいと考えています。その雨プログラムでやること自体は当日の朝の7時に決定をいたしますので、よろしくお願ひしたいと思います。

次に、ご報告になります。「かつしかふれあいRUNフェスタ2015」、来年の3月8日に行いますけれども、10月1日の午後9時から葛飾区民の選考エントリーが開始されました。10日を過ぎまして、きょうは10日ですけれども、現在の申込状況のほうをお知らせさせていただきます。現在、定員6,000名のところを、914名の参加の申し込みがございます。パーセントとしまして、参加率15.2%というふうになっております。

特に目立ったところでいいますと、親子ラン、ファミリーラン、特にふれあいという名前がついているところで、そちらの参加が、もう既に親子ランで44%、ファミリーランで47.6%ということで、非常に高い数字を示しております。

今後、11月4日になりますと区外の方の受け付けも始まりますので、定員のほうは埋まる状況だというふうに出ております。

私からの報告は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。只今の件で何かございますか。

(「なし」の声あり)

○委員長 よろしいですか。

では、以上をもちまして、平成26年教育委員会第10回定例会を終了させていただきます。お疲れさまでございました。

閉会時刻 11時00分